

## 香港で支持される「日本ブランド」

香港駐在員事務所

秘書 Hau Siu Yun, June

ご存知のように、香港はアジアでも日本食品の人気が非常に高く、かつ普及している国の一つです。特にここ数年相次いだ食品問題や健康志向の高まりにより、日本食品の「安全」「安心」なブランドイメージは一層高まり、香港内の日系スーパー・百貨店だけでなく地元スーパーにおいても「日本ブランド」の食品は急速に増えています。

このように特に食品の分野で注目度が高まっている「日本ブランド」ですが、香港では他の製品・サービスについても高い支持を得ています。

昨年、地元新聞で発表された「香港人の好きなブランドランキング」では上位 10 社中に日本企業 4 社がランクインしており、多くの人々が「日本ブランド」を支持していることが示されました（図表 1 参照）。

【図表1】 香港人の好きなブランドランキング

順位	企業（ブランド）	国	製品（サービス）
1	SONY	日本	電機
2	PANASONIC	日本	電機
3	CANON	日本	電機
4	WATSON	香港	飲料
5	ヒューレット・パッカート	米国	電機
6	SAMSUNG	韓国	電機
7	HSBC	香港	銀行
8	YAHOO	米国	インターネット
9	NOKIA	フィンランド	携帯電話
10	HITACHI	日本	電機

（出所：香港日刊紙「民報」）

「日本ブランド」が支持される第一の理由はもちろん「品質の高さ」です。富裕層が多く、世界中の製品・サービスが溢れている香港においても、日本製品の機能性や耐久性の高さに対する信頼度は絶対的なものと言えます。

また製品のデザインやパッケージの「センスの良さ」のほか、「頻繁なモデルチェンジ」も支持される理由の一つとなっています。香港人は元来「飽きっぽく」「目新しいもの好き」なため、欧米やアジアの製品に比べ頻繁にモデルチェンジを行う日本製品は、特に若者を中心に香港人を強く惹き付けています。

さらに香港では日本のアニメ・漫画・ドラマ・音楽・ゲームなど、いわゆるコンテンツ分野の人気も非常に高く、日本のアニメのキャラクターがついた製品や、日本の芸能人を使ったコマーシャルなどのプロモーション効果は抜群であり、日本のコンテンツ産業は日本ブランド全体のイメージ向上にも一役買っています。

香港人女性の視点から見た場合、ファッション関係での「日本ブランド」も見逃せません。香港では多くの女性向けファッション雑誌が売られています。そのほとんどが日本のファッションを中心とした内容であり、なかには日本のファッション雑誌が翻訳されず、そのまま書店で販売されているケースもあるほどです。

また最近では日本からの小売店進出や期間限定のプロモーションも相次いで行われており、日本風の接客方法や化粧の仕方まで指導を受けた「香港版カリスマ店員」が現れるなど、製品に加えサービスに至るまで「日本ブランド」が浸透しつつあります。

最近、韓国や中国など他のアジア諸国の製品に押され気味とのイメージもある「日本ブランド」ですが、少なくとも香港での支持は依然高いものとなっています。

今後も入念なマーケットリサーチと効果的なプロモーションにより、まだまだ香港人の潜在需要を掘り起こすことが出来るのではないかと考えます。

もちろん価格がもう少し安ければ言うことはありません。

以上